
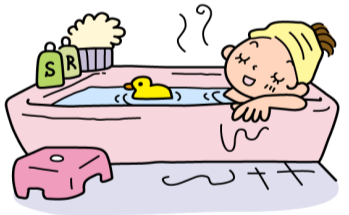




同種造血幹細胞移植を受ける患者さんへ（輸注当日～）

患者氏名:

主治医:

受け持ち看護師:

項目	移植当日			移植後 1日目	移植後2日目	移植後3日目	移植後4日目	移植後5日目	
	輸注前	輸注中	輸注後						
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 移植が安全に行える 感染予防の対策が継続できる 			<ul style="list-style-type: none"> 感染予防の対策が継続できる 					
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 免疫抑制剤が点滴で続きます (※治療の種類によっては、メソトレキセートを3日目、7日目、11日目に点滴することがあります) 								
	<ul style="list-style-type: none"> 過敏症予防の薬を点滴します 	<ul style="list-style-type: none"> 幹細胞を点滴で入れます(種類によって投与時間は異なります) 輸注開始後から2時間は、15分おきに血圧や体温、酸素飽和度を測定します それ以降は、2時間毎に血圧や体温、酸素飽和度を測定します 症状が出た時にはすぐに中止して対処します 	<ul style="list-style-type: none"> 薬が飲めないときは教えてください 貧血、血小板減少があるときは必要に応じて輸血をします 理学療法士が部屋を訪問してリハビリテーションをします 1日1回体重を測定します 						
検査	<ul style="list-style-type: none"> 心電図モニターをベッドサイドに設置します 	<ul style="list-style-type: none"> 輸注の途中で、採血や尿検査を行う場合があります 	<ul style="list-style-type: none"> 翌日まで心電図モニターを装着し、医師の判断で異常がなければ外します 						
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 原則はクリーンユニットの病室内のみとなります(医師の許可ができればクリーンユニット内まで活動範囲が広がります) 								
食事	<ul style="list-style-type: none"> 移植食です お茶は配られません ペットボトル等の飲み物は、開封後1日で破棄しましょう コンビニ弁当や自宅で作った持ち込みは食べられません 								
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワー浴が可能です ※体がきつい時にはお手伝いします うがいを毎日5～6回します 食事前、トイレの後、検査の後には手洗いをします 保湿剤を1日2回以上塗り皮膚を保護しましょう 								
排泄				<ul style="list-style-type: none"> 尿量測定は継続して行ってください 排便後はウォッシュレットを使いましょう 					
患者様及び家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 看護師がパンフレットで副作用や対処方法を説明します わからないことやご希望があればご相談ください <p>なんでも ご相談 下さい</p>			<ul style="list-style-type: none"> 筋力低下予防のため、体調に合わせてリハビリを継続しましょう クリーンユニット入室後は、ご家族の面会は可能ですが、1度の面会で大人2人までとなります 口内炎の早期発見のため、口の中の観察を毎日行いましょう(治療期間中は歯科衛生士が歯磨き指導やケアを行います) 週に1回栄養士が訪問し、食事についての相談を受けられます。ご希望があれば面談を調整します <p>一週間ほど経過すると・・・</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性GVHDの症状がでる時期に入ります 					 

注: イラストはMPCのイラスト集より転載

この経過表は治療期間中のおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りに行かない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院